

常任委員会《議案審査の概要》

本市議会には、総務・文教福祉・経済民生・建設水道の4つの常任委員会があり、定例会議において議案審査を行っています。
6月定例会議における主な審議の内容は、次のとおりです。

総務

審査議案のうち
財産取得の件(高

規格救急自動車の取得)については、福島消防署に配置されている車両が走行距離20万kmを超え、エンジン性能等が低下しており、安定した救急出動体制を確保するため、高度救命処置用資器材を搭載した車両1台を取得する旨の説明がありました。



高規格救急自動車

経済民生

審査議案のうち
一般会計補正予算

(中合福島店テナント退店対策事業費)については、(株)中合二番館の営業終了に伴い、退店するテナントの中心市街地での営業継続を支援するため、空き店舗賃借料の一部を補助することにより、退店するテナントを中心市街地の空き店舗に誘導し、雇用の場の確保と中心市街地の賑わいを創出するための事業である旨の説明がありました。

建設水道

審査議案のうち
一般会計補正

予算(長寿命化修繕事業費)については、昭和39年に架設され52年が経過している天神橋(市道矢剣町・鳥谷下町線)の橋梁の耐震化を推進するものであり、工事期間中においても、通行は可能である旨の説明がありました。



審査議案のうち
一般会計補正
予算(長寿命化修繕事業費)については、昭和39年に架設され52年が経過している天神橋(市道矢剣町・鳥谷下町線)の橋梁の耐震化を推進するものであり、工事期間中においても、通行は可能である旨の説明がありました。



長寿命化修繕事業を行う天神橋

なお、各常任委員会に付託された議案につきましては、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

除染推進等対策調査特別委員会

本特別委員会は、6月定例会議において委員長報告を行い、平成27年9月の委員会設置から約2年に及ぶ調査活動の区切りとしました。

◆調査の経過

当特別委員会は、除染事業に関する事項、除染作業により除去された土壌の運搬に関する事項、原子力損害賠償に関する事項の3点を調査事項とし、常に本市の除染事業の重要な転換期を見極めながら機を逸することなく詳細な調査を行い、2度にわたる委員長報告と国に対する意見書2件を提出してきました。

◆調査の経過
今般、本定例会議で改めてこれまでの調査経過について委員長報告を行うとともに、今後も継続する除染事業には引き続き市民協働により誠実かつ着実に事業へ取り組むことが求められるなかで、生活圏森林除染における業者による事業費の不正受給問題発覚により、さらに徹底した管理



監督責任を果たす必要があることから、本市の除染事業の現状と今後の課題を踏まえ、次の2点について市長に提言しました。
◆市長への提言内容

道路側溝における 市民の清掃活動の再開

① 道路除染を実施した路線の側溝については、安全性を十分に確認した上で、原発事故以前に実施していた市民の清掃活動の再開に向け、自治振興協議会等との協議を進めるよう努めること

市の管理監督責任

① 不正や偽装等が発生しないよう関係機関との連携を強化すること
② 現行の監理員体制を見直す等、厳正で徹底した事業管理に努めること

議会(本会議)中継を スマートフォンでご覧ください

議会傍聴にお越しいただけない市民の皆様も一般質問等の様子をご覧いただけるよう、本会議の録画及び生中継の映像をインターネットにより配信しています。
平成29年5月からは、パソコン端末だけでなく、スマートフォン及びタブレット端末でもご覧いただけるようになりました。
「福島市議会」のキーワード検索により議会ホームページをお開きいただき、メニューより議会中継をご覧ください。



スマートフォンにて議会中継を視聴